

苫小牧市立清水小学校学校便り

# 清水の子



『未来を創造する  
清水の子の育成』  
◇学びを広げる子  
◇思いやりあふれる子  
◇たくましさみなぎる子

TEL 33-7285

Eメール [simizu-es1@hokkaido.school.ed.jp](mailto:simizu-es1@hokkaido.school.ed.jp)  
第 7 号 平成 29 年 10 月 24 日発行



## 学芸会

校長 一谷 浩之

10月14日(土)には保護者・地域の皆様にご来場戴き本校の学芸会を開催することができました。子ども達は皆さんに見て戴くことを楽しみに練習してきました。

1年生は初めの言葉に続いて音楽「リズムは楽しい」と題した発表でした。笑点のテーマに乗せてリズム遊び、大きな歌声、難しい器楽合奏に取り組んでいました。練習時にいろんなグループに分かれて、それぞれめあてを持って練習していた姿を見てきました。よく頑張った合格です。私から座布団10枚の声をもらいました。

2年生は劇「かあさんのうた」です。広島に落とされた原爆をモチーフに呼びかけと演技と歌で平和の尊さを見る人に訴えかけていました。いつも校長室で仕事をしていると2年生の練習している歌声が聞こえてきていました。一途に健気に歌うテーマの歌を聴いているだけで、私が校長室で一人涙を堪えていたことは秘密にしておきます。

5年生は音楽「ミュージックフェア」まさしくショーです。発表を1つの番組に見立て構成するアイデアが面白い。ナレーションも歌も器楽も、5年生の一番の売りである「素直」を前面に出したレベルの高い発表でした。発表時の表情も豊かで本当に楽しんで、いい意味での緊張があり、節度を感じさせる立ち居振る舞いでした。

こぶし学級の劇「おおきなかぶ」毎年恒例の5年生のお友達の応援を受けながらの発表です。1年生から6年生までのこぶし学級のみんなの力を合わせた発表でした。ステージの巨大なバック絵は、こぶし学級全員で力を合わせて制作したものなのです。こぶし学級のチームワークここにありです。

4年生の劇「シンセツセンチ 4ネンジャー」コミカルな劇なのだけれど、扱っているテーマは奥深いです。子ども達の日常にある「自分の感じ方と人の感じ方の違い」を意識したり認めたりできるかということです。4年生世代に学んでおかななくてはならない大切なことを一生懸命演じてくれました。

3年生の音楽「音楽のおくりもの」3年生になって初めて取り組んだ楽器リコーダーをメインに発表しました。初めは指揮者を立てないで発表していたのですが、子ども達から指揮者を立てた方が演奏がまとまると意見が出て、あのような発表形態に進化したものです。子ども達の秘められたパワーですね。



6年生の劇「ニンゲルの森」はさすが清水小学校を引っ張る最高学年の発表でした。演技、照明、効果音楽、大道具…。演劇を構成する全ての仕事を全て自分たちで分担し作り上げた大作です。発表後の子ども達の達成感が私には痛いほど伝わってきました。表情が全てを物語っていました。一言「立派だ。百点」

「みんなで協力し、練習の成果を出し切って、くいのない思い出に残る最高の学芸会にしよう」という学芸会テーマは見事に達成されたと自負しています。